

令和4年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・植物や生き物の世話を通して、学習に対する興味を持続や責任をもって最後までやり遂げようとする大切さを知ることができた。
- ・植物や生き物の観察など、分かったことや気付いたことを絵や文で表現することを継続的に行ったことで、自分なりの気付きをまとめることができるようになった。
- ・体験的な活動を多く取り入れた。実際に体験したことをまとめ、発表するなど、めあてを明確に示したことで、児童が主体的に活動することができた。
- ・学校探検など、1・2年生のペアで交流し、関わりをもたせたことで、単元の学習への関心・意欲を高めることができた。

(2) 課題

- ・語彙が少ないため、観察した内容を適切な言葉で表現することに課題があった。
- ・生活経験に差があり、自分で課題を見付け、解決しようとする意欲が低い児童がいた。
- ・コロナ禍であるため、町探検を実施できないなど、活動に制限があった。

2 大田区学習効果測定の結果分析（学力効果測定を行っていないので、結果はありません。）

(1) 達成率（経年比較） *実施なし

①第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○グループ活動や1・2年でのペア活動などを通して、他学年の人と関わり合うことの楽しさを味わうことができた。</p> <p>○動植物の世話を通して、植物の生長や小さな生き物の変化の様子などに興味をもって活動することができた。</p>	<p>○季節ごとの生き物探しや植物の世話などを通して、既知の場所を違った視点で捉えることができ、また植物の生長の変化に新たな気付きが生まれた。</p> <p>○気付いたことを友達と教え合うことで、さらに気付きを深めることができた。</p>	<p>○分かったことや気付いたことを絵や文で表現することを継続的に行ったことで、自分なりの気付きをまとめることができるようになってきた。しかし、語彙が少ないため、観察した結果を適切な言葉で表現することが難しいことがあった。よりよい表現の仕方を身に付けられるよう指導していく必要がある。</p>

②第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○生き物を飼育することで、生き物に適したえさや飼育環境を自主的に調べたり、必要な情報を交換したりすることができた。また、おもちゃ作りでは、動き方や遊び方を工夫し、より良くする方法を考えたりしていた。ただし、見様</p>	<p>○分かったことや気付いたことを絵や文で表現することを継続的に行ったことで、自分なりの気付きをまとめることができるようになってきた。しかし、語彙が少ないため、観察した結果を適切な言葉で表現することが難しい児童もい</p>	<p>○野菜の苗を育てる活動を通して自然への関心を深め、自分で育てようとする姿勢を身に付け、高めることができた。今年も町探検の実施時期が未定のため、実際に町を見たり、インタビューをしたりといったことが行えない可能性を考えて、ICTを活用した授業の実施を検討している。また、1</p>

見真似で活動している児童も多く、自分で課題を解決しようとする意欲に課題がある児童も多い。	た。全体で交流し、伝え合うことを通して、よりよい表現の仕方を身に付けられるよう指導していく必要がある。	年生とも交流も内容を工夫して実施できる範囲で行った。
--	---	----------------------------

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の気付きを広げるとともに、正しい知識を身に付けさせる。 ○活動や体験の中からでた疑問を解決することが、次の課題解決活動に繋がっていることに児童が自ら気付くことができるよう、繰り返し活動する場を計画的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発表では、伝える相手を明確に提示することで、相手にわかりやすく伝えることを意識させ、表現力向上を図る。 ○表現の難しい児童に対しては、教員が問いかけることで言葉を引き出したり、視点や文型、表現の良い例を提示したりする。 ○ペア→グループ→クラスのように、段階を踏んで伝え合いの経験を積み、友達の発表や考えに触れることにより、思考を広げられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な活動、人との関わりのある活動を多く取り入れる。 ○目的意識をもたせる導入をし、学習意欲の持続を図る。 ○動植物の観察や世話をすることで、身近な動植物や自然に対しての興味を高める。 ○発言やカードの記述から、教師がよさを価値付けることで意欲を高める。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○自分で調べる、人に聞くなど、自分で課題を解決することができるスキルを身に付ける。 ○自分から知ろうとする意欲や、友達の発見や気付きを聞いて取り入れることができるようにする。 ○学級内のペア活動・グループ活動を積極的に取り入れる。 1・2学年の交流活動を年間計画に位置付ける。未就学児、校内で働いている人や地域の方と関わって行う活動を意図的に取り入れ、関わりを継続を計画していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他学年の交流や、地域の人との交流を取り入れ、自分の思いや考えを表現する場を設ける。 ○発表など、伝える相手を幼稚園児や1年生にすることで、相手を意識して分かり易く伝えようとする活動に繋げていく。 ○自分の考えをもつことや表現することが苦手な児童に対して、思考や表現を広げることができるよう支援する。 ○選択型で思考を促したり、見たり調べたりする観点や表現の型を示したり、友達のよい表現を知らせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な人々や自然に関心をむけ、自分から働きかけようとする姿勢を付ける。 ○学校や地域のことに目を向ける活動は ICT を活用して行う。 ○生き物や植物の世話をすることで責任をもってかかわることができるようにする。 ○発見したことや気付いたことを友だちと交換することで、より良く育てようとする意欲をもつ。